

国際防災都市構築へ

札幌建協が強靱化セミナー

札幌建設業協会は14日、道内の政治や行政、経済の中核である札幌を

大規模な自然災害から守り、道外や海外のバックアップ拠点として確立するため、札幌市強靱(きようじん)化セミナーを札幌市内の北海道建設会館で開いた。北大大学院の岸邦宏准教授は、札幌の強靱化が道や国全体、海外にも有益かどうかを問われると提言した。

札幌建協の創立100周年を記念したイベントで、関係者ら164人が参加。札幌市は強靱化基本計画を公表したが、札幌建協も岸准教授を委員長とする検討委員会を独自案を策定し、昨年11月に提言している。

岩田圭剛会長は「札幌が大規模災害で被災する

と道内に多大な影響がある。国際的な水準で強靱化を図る必要がある」と指摘。都市主要インフラの脆弱(ぜいじやく)性を克服する施設の新設や改修、維持について必要

性を強調するとともに、建設業の果たす役割を自らに課した。

基調講演した岸准教授は、札幌市の強靱化について「市民の安全・安心を守るのと同様に、国全体にとつてどれだけ有益かを示すことが重要」と



札幌の強靱化をめぐり関係者が意見を交わした

は「北海道が生き残るには優先や集中は避けられない。しかし地方が発展しないと、札幌の発展もない」と持論を展開。社会インフラの着実な整備など将来の長期課題を解決するよう要請した。

討議では、北海道開発局の佐々木純開発調整課長、国土強靱化推進担当局長は、今月からアクションプラン2016の策定を始めると報告した。

札幌市の佐藤博政策推進担当部長は強靱化の背景として「防災力の強化とバックアップ機能の発揮が目標」と説明。脆弱性評価やリスクポイント分析などから独自案をまとめた札幌建協検討委員会の中野淑文委員は、建設業の使命を「社会資本整備を担い、地域の安全・安心を守ること」とした。

バックアップ機能の発揮を強調した。そのために自治体の範囲を超えて設置する広域防災拠点や防災交通ネットワークなどの構築が、道内に限らず、道外や海外への貢献につながる」と説いた。

札幌一極集中に関して

は「北海道が生き残るには優先や集中は避けられない。しかし地方が発展しないと、札幌の発展もない」と持論を展開。社会インフラの着実な整備など将来の長期課題を解決するよう要請した。

化は「国のリスクマネジメントであり、成長戦略を支えるベース」と解説。2014年度に地域強靱化計画を策定した道総合政策部の佐々木誠也計画推進担当局長は、今月からアクションプラン2016の策定を始めると報告した。

札幌市の佐藤博政策推進担当部長は強靱化の背景として「防災力の強化とバックアップ機能の発揮が目標」と説明。脆弱性評価やリスクポイント分析などから独自案をまとめた札幌建協検討委員会の中野淑文委員は、建設業の使命を「社会資本整備を担い、地域の安全・安心を守ること」とした。

札幌市の佐藤博政策推進担当部長は強靱化の背景として「防災力の強化とバックアップ機能の発揮が目標」と説明。脆弱性評価やリスクポイント分析などから独自案をまとめた札幌建協検討委員会の中野淑文委員は、建設業の使命を「社会資本整備を担い、地域の安全・安心を守ること」とした。



一般社団法人札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は十四日、道建設会館で「札幌市強靱化セミナー」国際防災都市を目標として」を開催した。岸邦宏北大工学研究院准教授による基調講演を行ったほか、開発局、道、札幌市からパネ

ラーを招き、パネルディスカッションを実施。国土強靱化および札幌市の強靱化に向け、意見を交換した。

同協会の創立百周年記念事業の一環で、同協会が札幌市地域強靱化の最終報告書を取りまとめたことに伴い、その取組を

発信することが目的。会員企業、建設系コンサルなど業界関係者約百六人が参加した。開催に当たって、岩田会長があいさつ。「北海道

札幌建設業協会が札幌市強靱化セミナー

国際防災都市へ取組発信

基調講演、パネルディスカッション

の中核機能が集中している札幌市が災害に見舞われれば、北海道は機能し

なくなってしまう。札幌市の防災・減災、強靱化が将来的に大変重要な課

題となることは間違いない」と強調。その上で、「協会として心を一つにし、こうした課題に取り組んでいく」と述べ、今回のセミナーが有意義なものとなるよう祈念した。

セミナーは二部構成で実施。第一部は、岸准教授が「札幌市の強靱化とまちづくりの将来展望」と題し、講演した。国土強靱化基本法の目的や基本理念、これまでに同協会が実施した取組を解説。このほか、札幌市の広域防災拠点として、①支援物資の受入・供給拠点②自立・安定したエネルギー源の確保③帰宅困

難者などの一時避難施設④救助隊の活動拠点⑤防災総合センターや道の駅の活用⑥の五点の必要性を挙げた。

第二部では、「札幌市の持続可能な強靱化を考える」をテーマにパネルディスカッションを実施。パネラーは岸准教授のほか、佐々木純開発局開発監理部開発調整課開発企画官、佐々木誠也道総合政策部政策局計画推進担当局長、佐藤博札幌市市長政策室政策推進担当部長、中野淑文札幌建設業協会が務め、活発に意見を交換した。